

【機械保全技能検定】受検手数料減免のお知らせ・アンケート送付の回収結果について

●ご案内・アンケート送付、およびアンケート回収結果

今回のご案内・アンケートの送付、およびアンケート回収結果は下記のとおりです。

送付目的	1) 平成29年度より実施の技能検定における減免制度のご案内 2) 試験の円滑な実施を目的とした下記アンケートの送付 Q1. 平成29年度 第2回試験の受検予定者数と傾向を教えてください。 Q2. 従来の受検対象者を教えてください。【自由記入】 Q3. 減免制度の導入にともない、受検対象者に変更予定はありますか？ Q4. 機械保全技能検定の受検の主たる目的・動機について教えてください。【複数回答可】 Q5. 受検手数料の支払いについて教えてください。 Q6. 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会へのご質問・ご要望・ご意見等があればご記入ください。
送付対象	平成27年度以降に、機械保全技能検定試験の団体登録、または受検申請をした団体（企業・学校） ※ただし、3級のみ申請団体は、今回の送付対象から除外
送付数	2,420件
発送日	2017/5/31
送付方法	FAX・メール
返送方法	FAX・メール
回答者数	849件（6/2～6/23回収分）
回答率	35.08%

アンケート回収結果の集計は下記をご参照ください。

Q1. 平成29年度 第2回試験の受検予定者数と傾向を教えてください。

受検手数料の減免制度の導入をうけて、平成29年第2回試験（特・1・2級）の受検予定者数（学科・実技別の人数記入）および受検者増減の傾向（増加・減少・不明の選択式）を質問しました。

下記表は、受検者増減の傾向の集計です。

※受検予定者数(学科・実技別人数)は、未回答が多いため、集計は割愛

表1. 受検者増減の傾向

級位・作業	【件数】				【割合(未回答除外)】			
	増加	減少	不明	未回答	増加	減少	不明	
特級	17社	14社	254社	564社	6.0%	4.9%	89.1%	
1級	機械系	75社	69社	327社	378社	15.9%	14.6%	69.4%
	電気系	30社	34社	276社	509社	8.8%	10.0%	81.2%
	設備診断	13社	23社	257社	556社	4.4%	7.8%	87.7%
2級	機械系	126社	63社	357社	303社	23.1%	11.5%	65.4%
	電気系	61社	42社	282社	464社	15.8%	10.9%	73.2%
	設備診断	15社	20社	253社	561社	5.2%	6.9%	87.8%

Q2. 従来の受検対象者を教えてください。【自由記入】

従来の機械保全技能検定の受検対象者について、級別に質問しました（自由記述）。

自由記述の回答内容により、グルーピング（分類、集計区分）し、下記のとおり集計しました。

※分類として、1)在籍年数別、2)役職別、3)部門別で分別し集計

※自由記述欄に、複数の集計区分を記載の場合は、各々集計

表2-1. 在籍年数別集計

在籍年数	1級	2級
1年	0社	63社
2年	2社	123社
3年	3社	172社
4年	3社	139社
5年	5社	167社
6年	8社	102社
7年	12社	100社
8年	13社	98社
9年	10社	101社
10年	15社	102社
11年	11社	73社
12年	11社	73社
13年	11社	72社
14年	11社	72社
15年	11社	72社
16年	8社	70社
17年	8社	70社
18年	8社	70社
19年	8社	70社
20年以上	9社	70社

表2-2. 役職別集計

役職	1級	2級
全社員	10社	26社
一般社員 ^(注1)	61社	98社
リーダー層 ^(注2)	246社	79社

注1) 新入社員～中堅層

注2) リーダー・班長・課長などの職長層

表2-3. 部門別集計

部門別	1級	2級
製造・オペレータ系	11社	33社
保全・エンジニア系	54社	50社
教育系	8社	4社

Q3. 減免制度の導入にともない、受検対象者に変更予定はありますか？

減免制度導入にともなう受検対象者の変更予定（変更あり、変更なし、検討中、わからないの選択式）を質問しました。

（変更ありを選択した場合は、変更内容を自由記述で回答）

下記表は、変更予定の集計です。

表3-1. 受検対象者変更予定集計

選択肢	件数	割合
変更あり ^(注3)	31社	3.6%
変更なし	517社	60.7%
検討中	118社	13.8%
わからない	184社	21.6%
未回答	2社	0.2%

注3) 「変更あり」内容の自由記述は、いづれも受検者増加を示す回答

※一部、重複回答した団体がありましたが、各々件数を計上

Q4. 機械保全技能検定の受検の主たる目的・動機について教えてください。【複数回答可】

機械保全技能検定の受検の主たる目的・動機を、9つの選択肢で質問しました。

下記表は、受検目的・動機内容の集計です。

表4-1. 受検目的・動機内容集計

選択肢	件数	割合
保全技能レベルの向上	749	33.6%
自己啓発	423	19.0%
オペレータのレベル向上	310	13.9%
企業・団体としての推奨	309	13.9%
受検者の意向	181	8.1%
受検者の昇給・昇格	138	6.2%
取得を義務付けている	78	3.5%
就職活動のため	31	1.4%
その他	4	0.2%
未回答	5	0.2%

Q5. 受検手数料の支払いについて教えてください。

受検手数料の支払い（全額会社・企業負担、受検料の一部補助、受検者の個人負担、その他の選択式）について質問しました。

（その他を選択した場合は、その内容を自由記述で回答）

下記表は、受検手数料負担先の集計と、受検手数料の一部補助の例です。

表5-1. 受検手数料負担先集計

選択肢	件数	割合
全額会社・企業負担	525	56.9%
受検料の一部補助	261	28.3%
受検者の個人負担	123	13.3%
その他	9	1.0%
未回答	5	0.5%

表5-2. 受検料の一部補助の例

補助内容
受検回数上限（初回のみ～3回まで）つき会社負担
合格者のみ会社負担
合格者へ報奨金支給
合格者へ資格手当支給

※上記例示は、その他用の自由記述欄に記載のあったもの

※一部、重複回答した団体がありましたが、各々件数を計上

※その他回答は、全回答自由記述未記入

Q6. 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会へのご質問・ご要望・ご意見等があればご記入ください。

下記は、いただいたご質問と回答です。

【受検案内について】

Q.受検日程等の試験案内が（早く）ほしい。

A.公式サイト上で下記のとおり試験情報を公開しております。

なお、団体情報登録している方へは、メールにて公開のご案内をお送りしております。

受検案内冊子は、公式サイト公開から約2週間後に郵送します。郵送希望の方は、受検サポートセンターまでお申し出ください。

公開情報	第1回(3級)	第2回(特/1/2級)	備考
試験方法・手数料・試験日・受検申請手続きなど	3月上旬		公式サイトにて実施公示として公開
受検申請手続き(詳細)・受検地区・申請書フォームなど	3月上旬	8月上旬	公式サイトにて受検概要として公開

※上記日程は、目安となります。変更の場合は、公式サイトにてご案内します

【受検申請・受検手数料・本人確認書提出について】

Q.団体申請取りまとめの担当者が、所属する全受検者の受検情報・試験結果情報を確認できるようにしてほしい。

A.団体情報登録をしていただき、申請時に団体申請コードを記載した受検者分は、取りまとめ担当者がマイページにて、

受検申請内容・試験結果内容を確認できます。

Q.電気系実技の試験情報（受検日・会場）を早く教えてほしい（受検票の到着が遅い）。

A.平成29年度第2回は、**個人宛受検票：11月15日**、**団体一括発送受検票：11月22日**に発送します。

また、下記のとおり、**11月8日**に試験情報をマイページ上で公開します。

【個人申請の方】インターネット申請の方に限り、試験情報確定以降にマイページにて受検日・会場の情報を確認できます。

※紙申請の方は、受検票でのご案内となります。団体エクセル申請の方は、団体取りまとめ担当者へご確認ください

【団体申請の方】団体申請取りまとめ担当者のマイページにて、所属する受検者の試験情報を確認できます。

Q.受検票や結果通知書に、受検者の所属・社員番号を印字して、団体取りまとめ担当者の仕分け負担を軽減してほしい。

A.平成29年度第2回より、申請書に記入いただいた団体情報(所属部署名・団体管理用備考欄)を受検票の宛名部分に印字します。

また、マイページにて、送付物別(受検票・結果通知書・合格証書)に、団体一括送付(団体取りまとめ担当者宛)と個人宛送付を選択できるようになりましたので、個人宛送付を選択することで、仕分けの負担がなくなります。

Q.受検手数料の減免制度について、適用される申請者に制限があるのはなぜですか？

A.厚生労働省ホームページに、減免制度の案内が公開されていますのでご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/genmen-shuuchi_1.pdf

Q.本人確認書の提出について、団体取りまとめ担当者の情報管理負担が増えてしまう。

A.すべての技能検定で、申請時の本人確認書類の提出が必須となりました。

個人情報管理の観点などで、団体取りまとめ担当者が、本人確認書類の回収が困難な場合は、

申請者個々に個人申請することで、本人確認書類の提出も申請者個々に対応することができます。

※申請時に団体申請コードが必要になりますので、団体取りまとめ担当者は、申請者へ事前周知してください。申請時に入力がない場合は、団体としての取りまとめができません

【合格証書について】

Q.合格証書を早くほしい。

A.平成27年度以降の試験で、技能士合格または一部合格している方は、受検申請時に免除付の受検申請が可能です。合格証書交付申請をすることなく、合格発表後1ヵ月程度で合格証書を交付します。

試験結果通知到着後に合格証書交付申請を行っていただくよりも、約1～2ヵ月程度早くお届けすることが可能です。

※平成26年以前の試験での一部合格の場合、または一部合格以外での免除申請をする場合は、合格証書交付申請が必要となります

※合格証書交付申請の場合、月単位での処理となります。交付手続きに2ヵ月程度要しますので、申請書送付から合格証書の到着まで3ヵ月程度かかる場合があります